

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

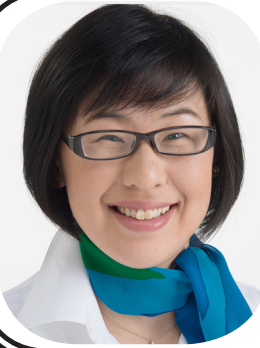
# 山本 陽子 活動ニュース

VOL.40 2018年12月9日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

寒くなります！  
体調管理に  
気をつけて  
くださいね！

山本陽子  
山本陽子  
山本陽子



## 市民の足を守る連絡会 シンポジウムに参加しました

**立** 命館大学名誉教授の土居靖範先生が「公共交通の充実で交通不便地域の解消を」をテーマに基調講演されました。市民生活の向上には、市内全域の京都市の交通政策のあり方が問われます。土居先生は、個別の路線の充実を求める運動も重要だが、理論的な後ろ盾を得るためにも、「交通まちづくり条例（仮称）」の制定が必要であることを述べられました。



長野県木曾町では「地域公共交通は、医療・福祉・観光・商工業・教育などすべての施策の土台」となるものであると、生活交通システムの重要性を町長が訴えたそうです。京都市は、「賑わい施設」周辺の公共交通は進んで充実させようとしていますが、交通不便地域はその実態を把握すらせずに、がんばる地域のみを応援するという施策をとっています。交通権は現代の重要な基本的生存権です。全市的に市が責任を持つように訴えていきます。

伏見区藤城学区、桃山UR団地、北区雲ヶ畑、東山区今熊野、西京区など、各地域から市民の足を守る運動について発言があり、山科からも、鏡山循環バスの運行について報告されました。



## 子ども医療費子どもネット ～「小児科医が語る子どもの貧困と医療費」～

**長** 野島の健和会病院小児科医である和田浩医師の講演を聞きました。

子どもの貧困について、格差はより拡大している。所得が多い層では収入は増え、所得が低い層はより収入が減っている、という調査結果を示されました。厚労省発表で2012年子どもの相対的貧困率が16.3%とされて以後、2015年には13.9%に下がりましたが、基準となる生活保護の基準が引き下げられて貧困ラインが低下したから減少したとも言われています。そのようなもとで、医療費の窓口負担が払えなくて受診できない家庭、子どもたちがいることを和田医師は自身の体験として報告されました。「財布にはもう1000円しかない」。そんな家庭では、一部負担500円であっても最低限食べることを我慢することはできない、と訴えられました。

今、京都府内の府市検討会で子どもの医療費助成制度の拡充の内容をどうすべきか議論がされています。子どもの医療費はせめて中学校卒業まで、すべての子どもに無料とすべきだと、再認識しました。



## 住民の皆さんの困りごと相談受付けています！



先日は、外環西友ストア向側歩道の、むくどりの糞害についてご相談がありました。さっそく各所へ対策を求めました。まず歩道の管理者である土木事務所の職員さんには、正月を迎える前に気持ちよく、ということで、デッキブラシで手すりや歩道を清掃していただきました。

駆除については、街路樹の所管であるみどり政策推進室に相談し、来年、むくどりが大量飛来する時期に集中駆除を実施することになりました。

相談いただいた方はじめ、近隣の住民の方にも喜んでいただきました！



「一か月に一回  
はまた来たいわ」  
と娘も気に入って  
くれました。

その後、私は近くの会館で開かれた集會に参加、終わって戻ると、ミュージアム広場に父子で寝転んでマンガを読んで待っていました。私も子どもと一緒に広場に寝転んで秋空を眺め、親子でくつろぐ瞬間に。

先日、日曜の仕事の合間を縫って、家族で京都国際マンガミュージアムに行きました。私も初めての入場でしたが、皆さんのファミリィがそれぞれ好き好きにマンガを読む時間を過ごされていました。ソファに寝転んで読めるスペースもあり、広場にシートを敷いて弁当持参で過ごしておられる家族も。全館を見て回りましたが、親が夢中になったマンガもたくさんあって「この漫画雑誌は、お母さんが子どものときに読んでたやつやで」「展示の付録いいなー、かわいいなー」と、親子の会話もはずみました。

ヨコ子の  
ママチャリ  
子育て日記  
秋空の下、  
マンガ読書の家族時間

